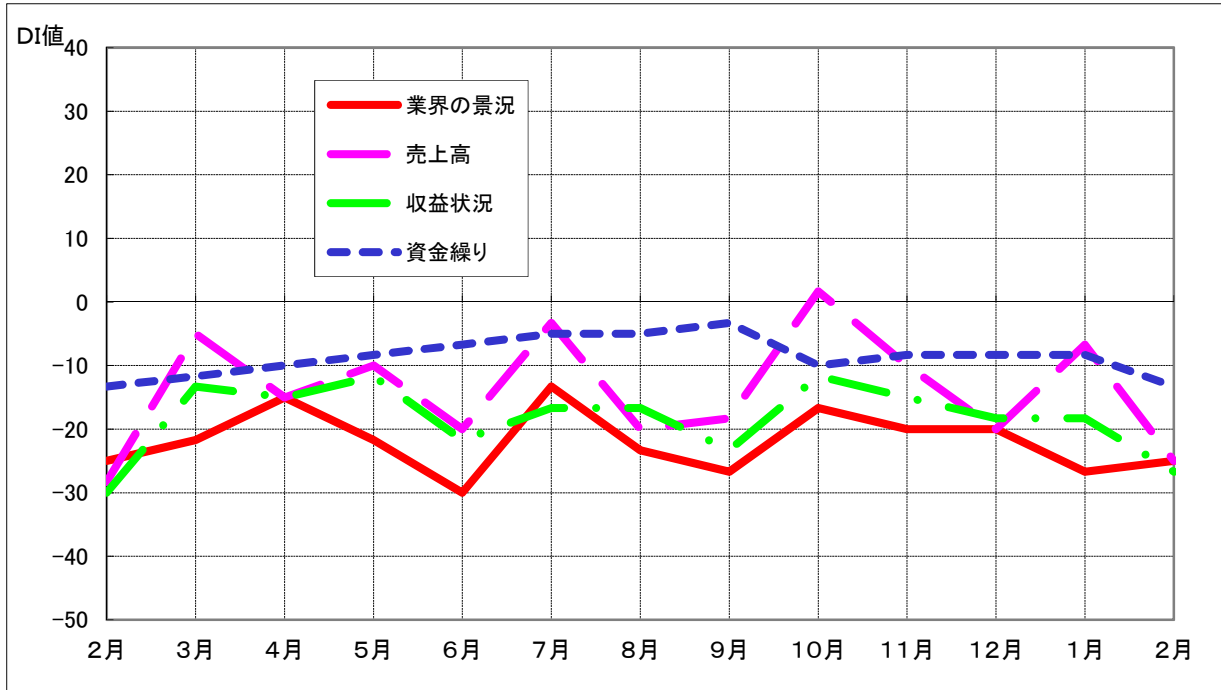


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成30年2月～平成31年2月

単位:ポイント



	H30												H31	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
業界の景況	-25.0	-21.7	-15.0	-21.7	-30.0	-13.3	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-26.7	-25.0	
売上高	-28.3	-5.0	-15.0	-10.0	-20.0	-3.3	-20.0	-18.3	1.7	-10.0	-20.0	-6.7	-25.0	
収益状況	-30.0	-13.3	-15.0	-11.7	-21.7	-16.7	-16.7	-23.3	-11.7	-15.0	-18.3	-18.3	-26.7	
資金繰り	-13.3	-11.7	-10.0	-8.3	-6.7	-5.0	-5.0	-3.3	-10.0	-8.3	-8.3	-8.3	-13.3	

2月のDI値は前月と比べ、1項目改善、3項目悪化であった。「業界の景況」DI値は1.7ポイント改善、「売上高」DI値は18.3ポイント、「収益状況」DI値は8.4ポイント、「資金繰り」DI値は5ポイントそれぞれ悪化した。前年同月比でみると2項目改善、2項目不変となった。「売上高」DI値は3.3ポイント、「収益状況」DI値は3.3ポイントそれぞれ改善し、「業界の景況」DI値、「資金繰り」DI値はそれぞれ不変という結果となった。

連絡員からは製造業・非製造業問わず、暖冬による影響についての報告が多く寄せられた。製造業において、暖冬や消費増税前の駆け込み需要の影響が全体的に受注高・売上高が増加したと報告があり、非製造業、特に小売業・商店街においては前年同月比で売上の回復が見られたが大幅な売上増・顧客増とはならなかったと報告があった。

組合からの特記事項では、製造業において、暖冬や消費増税前の駆け込み需要のためか全体的に受注高・売上高増加の報告が多く寄せられた。先月に引き続き、建設関連業界が好調であったが、食料品製造業に関しては消費者のライフスタイルの変化によって全体的な需要が減少傾向にある。

非製造業においては暖冬・小雪であったため昨年同月比では売上が増加したが、大幅な売上増・顧客増とはならなかったとの報告が多く寄せられた。